

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
東京ビューティーアート専門学校	平成11年12月10日	菅井 健治	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目37番8号 (電話) 03-5805-1251																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	屋間 一彦	〒123-1234 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																								
分野	認定課程名	認定学科名	専任	高度専任																							
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科	平成6年文部科学省 告示第84号	-																							
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。																										
認定年月日	平成28年2月19日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	62単位	123単位	131単位	2単位	0単位	14単位																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
260人		241人	4人	21人	22人	43人																					
学期制度	■前期 4月1日から9月30日まで ■後期 10月1日から翌年3月31日まで			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行い、各科目ごとの基準についてはシラバスに示す。																						
長期休み	■夏季: 7月下旬～8月下旬までの約1カ月 ■冬季: 12月下旬～1月上旬までの約2週間 ■学年末: 3月上旬～4月上旬までの約1カ月			卒業・進級条件	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任等による定期的な個別面談、状況によりカウンセラーによる面談も実施。			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 部活動の他、姉妹校や関連業界へのイベント参加時など ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) メイク・ネイル・エステティック・モデル業界 ■就職指導内容 就職ガイダンス、ホームルーム、就職対策授業にて就職支援を行っている。 ■卒業者数 : 101 人 ■就職希望者数 : 98 人 ■就職者数 : 98 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 97.02970297 % ■その他 ・進学者数: 1人 ・結婚、その他分野就職など 2人 (令和 元 年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>96人</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラーコーディネイト検定</td> <td>③</td> <td>99人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>トータルメイクアップ検定ベジック</td> <td>③</td> <td>98人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>JNECネイリスト技能検定</td> <td>③</td> <td>29人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	サービス接遇検定	③	96人	92人	パーソナルカラーコーディネイト検定	③	99人	96人	トータルメイクアップ検定ベジック	③	98人	96人	JNECネイリスト技能検定	③	29人	29人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
サービス接遇検定	③	96人	92人																								
パーソナルカラーコーディネイト検定	③	99人	96人																								
トータルメイクアップ検定ベジック	③	98人	96人																								
JNECネイリスト技能検定	③	29人	29人																								
中途退学の現状	■中途退学者 27名 平成31年4月1日時点において、在学者234名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者207名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、精神疾患、目的喪失、経済的理由など			■中退率 12%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生入学制度等 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										

当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/couse/total/
----------------	---

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
(2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項。
(3)教科書・教材の選定に関する事項。
(4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等。

また、より正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長及び各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門員会)にて提案される。
提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
山本 雄士	株式会社ラヴィアンローズ 取締役副社長	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日(2年)	③
堀内 照之	ベレックスホールディングス 管理部 部長	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日(2年)	③
木村 香奈子	一般社団法人CIDESCO-NIPPON 理事	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日(2年)	①
小海 勝正	東京ビューティーアート専門学校 副校長		
菅井 健治	東京ビューティーアート専門学校 校長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回(7月、2月)

(開催日時(実績))
第1回 令和元年8月29日 10:00～11:30
第2回 令和元年12月12日 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
技術は持っているも接客が苦手な新人が多いとのご意見より、サロンワークや接客などに関わる授業、及び各シラバスを見直し実践的な内容を増やせるように取り組む。また、職業理解が薄い状態での就職が問題視される場面も散見されるとのことから、卒業生や外部企業講師などの招聘を増やし在学中に目指す職業への理解を深めるための機会提供を増やして行くこととする。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

* 授業内容について(1年次に2週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な手技や接客マナー等を習得する)
* 評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行う)

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。化粧品概論、ネイル、メイク、ヘアケア化粧品、フレグランス、ボディ化粧品等に用いられる薬剤とその働きなどを学ぶ。	タカラベルモント株式会社
化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。化粧品概論、ネイル、メイク、ヘアケア化粧品、フレグランス、ボディ化粧品等に用いられる薬剤とその働きなどを学ぶ。	タカラベルモント株式会社
サロンワーク(ネイル)Ⅰ	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、ネイルサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、技術なども学んでいく。	ネイルパートナー株式会社
サロンワーク(メイク)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	タカラベルモント株式会社
サロンワーク(エステ)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、エステサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理に加え「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。	エステティックグランプリ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「美容業界の動向理解」(連携企業等: ネイルパートナー様、ラヴィアンローズ様)

期間: 令和元年8月23日(金) 対象: 各教職員、及び実技教員 25名

内容: 業界の現状や今後の展望など、美容業界の勉強会も兼ねて実施。業界の今を理解するとともに、各担当教員から全教職員へ情報を共有し、授業を介して生徒への情報還元も促進するため。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「授業力向上研修」(連携企業等: 株式会社ウィルシード)

期間: 令和元年8月21日(水) 対象: 各教職員20名

内容: 階層別に、新人、2年目、3年目、中堅層、主任者向けそれぞれに授業力向上に向けての研修の実施。業界内の動向や担任力・教務管理に関する分野に特化した研修内容など。グループワークを通して相互の情報共有やレベルの底上げを行う。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「美容業界の動向理解と実技のデモ体験」(連携企業等: OCEAN TOKYO)

期間: 令和3年3月30日(火) 予定 対象: 全教職員80名

内容: 授業力の向上と美容業界の求める人物像の理解。また、学校及び教員としての在り方を学び、技術者としての専門的な手技の実践を通してレベルの底上げを図るため。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「授業力向上研修」(連携企業等: 株式会社ウィルシード)

期間: 令和2年8月19日(水)～21日(金) 予定 対象: 各教職員20名

内容: 階層別に、新人、2年目、3年目、中堅層、主任者向けそれぞれに授業力向上に向けての研修の実施。業界内の動向や担任力・教務管理に関する分野に特化した研修内容など。グループワークを通して相互の情報共有やレベルの底上げを行う。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施すること」を基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

事務事故防止の観点から、担当者増員や教員間のコミュニケーションの強化が必要であるとの意見を基に、公式に学校教職員間での情報共有や連絡に使用できるツールを設置し、情報発信、管理の一元化を実施。また、今後増加する見込みの留学生に対してのサポートも、専門の部署を設置し指導・管理の強化にあたることで受け入れ態勢をより整えていくことにする。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
猪狩 正義	株式会社フジシン	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日(1年)	企業等委員
藤原 信一	飛鳥未来きずな高等学校	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日(1年)	教育に知見を有する者
平井 宏子	SANKO日本語学校	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日(1年)	教育に知見を有する者
楊 蔚樂	卒業生	令和2年4月1日 ～令和3年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/tokyo-beauty.pdf>

公表時期: 令和元年6月25日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/tokyo-beauty.pdf?data=0627>

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティ科) 令和2年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ビジネスマナーⅠ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
2	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付け、パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指す。色に関する様々な知識を身につける。	1前	30	2	○			○		○		
3	○			未来デザインプログラムⅠ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1前	15	1	○			○		○		
4			○	デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い芸術を理解する	1前	30	2	○			○		○		
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ	1前	30	2	○			○		○		
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する	1前	30	2	○			○		○		
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する	1前	15	1	○			○		○		
8			○	化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1前	15	1	○			○		○		○
9			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1前	15	1	○			○		○		
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する	1前	60	2		○		○		○		
11			○	ベーシックネイルⅠ	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる	1前	60	2		○		○		○		
12			○	ベーシックメイクⅠ	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。	1前	60	2		○		○		○		
13			○	就職対策Ⅰ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける	1前	15	1	○			○		○		
14			○	モデル入門	モデルに必要なことを学ぶ (基本姿勢・歩き方・ルールやマナー・業界知識)	1前	30	1		○		○			○	

15	○		カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1 後	30	2	○			○	○				
16	○		未来デザインプログラムⅡ	社会人としてあるべき人格を高め、自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する	1 後	15	1	○			○	○				
17		○	就職対策Ⅱ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける	1 後	15	1	○			○	○				
18	○		ビジネスマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける	1 後	30	2	○			○	○				
19		○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ	1 後	30	2	○			○	○				
20		○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する	1 後	30	2	○			○	○				
21		○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1 後	15	1	○			○	○				
22		○	化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1 後	15	1	○			○	○				○
23		○	ベーシックネイルⅡ	ネイル技術の基本を学び実践でき、さらに基礎に加えてJNA2級課題である爪の補修・補強を学ぶ	1 後	30	1	○			○	○				
24		○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1 後	30	1	○			○	○				
25		○	ビューティーカウンセリング	メイクの業界で求められる人材や接客における言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	1 後	30	2	○			○	○				
26		○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。	1 後	45	3	○			○	○				
27		○	ヘアアレンジⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1 後	60	2	○			○	○				
28		○	パーソナルメイク	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップが出来るようになる。	1 後	45	1	○			○	○				
29		○	ベーシックメイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す	1 後	30	1	○			○	○				
30		○	エステティックカウンセリングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1 後	15	1	○			○	○				
31		○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1 後	15	1	○			○	○				

32			○	プロフェイシャル I	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1 後	60	2		○		○		○				
33			○	プロボディ I	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1 後	60	2		○		○		○				
34			○	アロマセラピー I	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。	1 後	30	2	○			○		○				
35	○			サロンワーク(ネイル) I	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する	1 後	45	1			○	○		○				○
36			○	スカルプチュア	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る	1 後	45	1		○		○		○				
37			○	ネイルケア&ネイルアート I	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート(フラット)を描くことが出来る	1 後	45	1		○		○		○				
38			○	検定対策 I	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる	1 後	45	3	○			○		○				
39			○	ジェルネイル I	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る	1 後	45	1		○		○		○				
40			○	コンテスト I	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる	1 後	15	1	○			○		○				
41			○	パーソナルコーディネイト I	外見を創り上げる基本要素を押さえパーソナルカラー、色彩心理、TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。	1 後	30	2	○			○		○				○
42			○	ヘア&メイク	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す 頭部の骨格を知り髪の毛の扱い方からヘアアレンジまでを習得し、実践していく	1 後	60	2		○		○		○				
43	○			着付けⅢ	着付に関する知識・基礎技術を身につける。	1 後	30	1		○		○		○				○
44			○	栄養管理 I	健康的で美しい体を目指すために正しい知識を身に付け、今後のボディメイクに役立てる。	1 後	15	1	○			○		○				○
45			○	ウォーキング I	モデルとしての意識を持ち、今の自分(体型や個性)を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。	1 後	30	1		○		○		○				○
46			○	ポージング I	モデルとは何か何を覚えなくてはならないのかモデルとしての基礎・基本を理解してもらう	1 後	30	1		○		○		○				○
47			○	ボディエクササイズ I	自宅でできるエクササイズをやり方、正しいフォーム等を覚え生活の中で身体を動かす習慣付けをする	1 後	30	1		○		○		○				○
48			○	セルフプロデュース I	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。	1 後	30	1		○		○		○				○

49		○	ボイストレーニング I	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付けさせる	1後	30	1		○		○							
50		○		脚本において、自分の周りの状況を把握し、役作りをして、役の感情を相手に伝えられる様にする	1後	30	1		○		○							
51		○	撮影 I	撮影の基本姿勢を考え、ポージングを作れる意識づくりをできるようにする。自分をアピールする長所と短所を理解し、独自のコンポジットブック作成の方法論を考える。	1後	30	1		○		○							
52		○	メンタリティーメイキング I	モデル（芸能界）に向けての意識改革と揺るがない精神の土台をつくる	1後	15	1	○			○							
53		○	アロマセラピー II	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。	1後	15	1	○			○							
54		○	フェイシャル&ボディ I	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1後	45	1		○		○							
55		○	ネイルアート I	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する	1後	30	1		○		○							
56		○	ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJEC2級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する	1後	30	1		○		○							
57		○	パーソナルヘア&メイク I	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1後	30	1		○		○							
58		○	検定メイク II	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す	1後	30	2	○			○							
59		○	ヨガ・ピラティス I	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する	1後	30	1		○		○							
60		○	サロン・レセプション	美容室、エステサロン等ビューティーサロンで必須な受付、応対術を学ぶ	1後	15	1	○			○							
61		○	ビューティー・インダストリー	美容業界を理解し、各業態でのサービス内容の違いや特性を知る	1後	15	1	○			○							
62		○	施設実習	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する	2前	80	2				○		○	○				
63		○	就職対策 III	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。	2通	30	2	○			○			○				
64	○		着付け I	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる	2通	60	3		○		○							○
65		○	ヘアアレンジ II	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2通	90	3		○		○							

66		○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する	2通	60	4	○			○	○						
67		○	ビューティーカウンセラーメイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する	2通	60	4	○			○	○						
68		○	ブライダルメイク	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学び、現場を意識して実践する 洋装和装ヘアメイク・お色直し	2通	90	3	○			○	○						
69		○	特殊メイク	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする	2通	90	3	○			○	○						
70		○	アーティストメイク	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2通	90	3	○			○	○						
71		○	フォト&ファッション	フォト⇒写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所よっての注意点等を理解し、実践力を身につける ファッション⇒自身の好みだけにとらわれない様、幅広く興味を持てる様に知識を増やせるようにする。	2通	30	2	○			○	○						
72	○		サロンワーク(メイク)	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2通	120	4				○	○			○			○
73	○		サロンワーク(エステ)	① マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」とおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2通	120	4				○	○			○			○
74		○	エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける	2通	60	4	○			○	○						
75		○	サロントリートメント	エステティシャンとしての接客マナーを実践的に学び、さまざまな技術を安全に行うことができるスキルを身につける	2通	90	3	○			○	○						
76	○		着付けⅡ	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる	2前	30	1	○			○							○
77		○	エステティック総論(シデスコ)Ⅰ	エステティック知識総合(資格試験対応)に向けての救急法や電気理論、肌疾患などの基礎知識を学び、検定対策を行う	2前	60	4	○			○	○						
78		○	エステティック総論(シデスコ)Ⅱ	シデスコ筆記試験に向けての運動生理学や自然科学、最新美容などの応用的な知識を学び、検定対策を行う	2後	60	4	○			○	○						
79		○	フェイシャルマニピュレーション	ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深め、マッサージ、クレンジング、メイクなどのスキルアップを目指す	2通	90	3	○			○	○						
80		○	フェイシャルスキンケアⅠ	フェイシャル電気機器を使用し、ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2前	45	1	○			○	○						
81		○	フェイシャルスキンケアⅡ	肌別・トラブル別の選択を含め、皮膚生理学・化粧品学・機器などを中心に総合実技試験に向けての対策を実施する	2後	60	2	○			○	○						
82		○	ボディベーシック	ボディ分析、スエディッシュマッサージ練習、脱毛などを中心にAEA上級エステティシャンの試験対策を行う	2通	90	3	○			○	○						

83			○	ボディテクニカルⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク技術、知識を深める	2前	45	1		○		○	○				
84			○	ボディテクニカルⅡ	ボディ電気機器の実践的な使用方法を含め、クライアントに応じた機器の選択などを総合的に学ぶ	2後	60	2		○		○	○				
85			○	プロボディⅡ	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニングを中心に、AEA上級エステティシャン試験対策を行う	2通	120	4		○		○	○				
86			○	プロフェイシャル（上級）Ⅱ	接客の基礎実践 ディープクレンジング復習からフェイシャル化粧品についての知識やフェイシャル電気機器についての技法までを学ぶ	2前	90	3		○		○	○				
87			○	プロフェイシャル（上級）Ⅲ	カウンセリングシートに基づくアドバイスができるようになるレベルを目指し、フェイシャルテクニク総合クライアント実習を組み込み実践的に学ぶ	2後	90	3		○		○	○				
88			○	エステティック総論（上級）	皮膚学、生理解剖学、栄養学、化粧品学、概論、衛生、自然科学、電気学などを中心にAEA問題集の解説をしながら検定対策を行う	2通	60	4		○		○	○				
89			○	プロフェイシャル（ヒーリング）	スエディッシュマッサージを中心に、様々なクライアントに対応した適切な知識、技術の習得とスキルアップを目指す	2通	120	4		○		○	○				
90			○	アロマセラピー総論	アロマセラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができるレベルの習得を目指す	2通	60	4		○		○	○				
91			○	エステティック総論（ヒーリング）	カラーセラピーやフラワーレメディなどの科目でオーラソーマやカウンセリング手法を学ぶとともに、ロミロミなどのマッサージの手技の習得をする	2通	30	2		○		○	○				
92			○	スパセラピー	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、東洋医学、フットケア、リンパドレナージュ、アーユルヴェーダーなどの科目についてのさまざまな技術を習得する	2通	120	4		○		○					○
93	○			サロンワーク（ネイル）Ⅱ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2通	90	3			○	○	○				
94			○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる	2前	60	4		○		○	○				
95			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる	2後	60	4		○		○	○				
96			○	検定対策&スカルプチュアⅠ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する	2前	60	4		○		○	○				
97			○	検定対策&スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する	2後	60	4		○		○	○				
98			○	ジェルネイルⅡ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる	2通	120	4		○		○	○				
99			○	コンテストⅡ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる	2通	60	2		○		○	○				

100			○	ネイルケア	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する	2通	90	3	○	○	○				
101			○	ネイルアートⅡ	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する	2通	90	3	○	○	○				
102	○			着付けⅣ	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる	2通	60	3	○	○	○				
103			○	ウォーキングⅡ	モデルとしての意識を持ち、今の自分（体型や個性）を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。	2通	60	2	○	○	○				
104			○	ポージングⅡ	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色々なシチュエーションを想定してポーズ表現していく。	2通	60	2	○	○	○				
105			○	ボイストレーニングⅡ	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基づき知識を身に付けさせる	2通	60	2	○	○	○				
106			○	演技Ⅱ	脚本（現場）において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする。	2通	60	2	○	○	○				
107			○	栄養管理Ⅱ	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる	2通	60	4	○	○	○				
108			○	国際コミュニケーション	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようにするねらい	2通	30	2	○	○	○				
109			○	ボディエクササイズⅡ	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り	2通	60	2	○	○	○				
110			○	ダンス	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。	2通	60	2	○	○	○				
111			○	セルフプロデュースⅡ	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。	2通	60	2	○	○	○				
112			○	パーソナルコーディネートⅡ	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する授業。フェイスシェイプ・ボディプロポーションを生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。	2通	60	4	○	○	○				
113			○	撮影Ⅱ	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。	2通	60	2	○	○	○				
114			○	撮影Ⅲ	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。	2通	60	2	○	○	○				
115			○	メンタリティーメイキングⅡ	モデル（芸能界にむけて）のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す	2通	60	4	○	○	○				
116	○			サロンワーク（インタービューティー）	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2通	60	2	○	○	○				

117		○	エステティックカ ウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける	2 通	30	2	○		○	○		
118		○	アロマセラピーⅢ	アロマセラピー検定対策アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用	2 通	30	2	○		○		○	
119		○	フェイシャル&ボ ディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める	2 通	120	4	○		○	○		
120		○	ネイルケア&ネ イルアートⅡ	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する	2 通	60	2	○		○	○		
121		○	検定対策&ジェ ル	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る	2 通	60	4	○		○	○		
122		○	パーソナルヘア &メイクⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2 通	60	2	○		○	○		
123		○	トータルメイク	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施述タイムも意識しながら実践を行う	2 通	60	2	○		○	○		
124		○	ヨガ・ピラティス Ⅱ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する	2 通	60	2	○		○		○	
125		○	デトックス	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を学ぶ	2 通	30	2	○		○		○	
126		○	ダイエット学	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ	2 通	60	2	○		○		○	
合計					126科目	8335単位時間(270 単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。 「香粧品学Ⅰ」「香粧品学Ⅱ」については該当科目を必修科目としている。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。